

ECLE 取替錠レバーハンドル EV-300

細框扉対応取替錠レバーハンドル

取替取付説明書

鍵付錠 : EV-300



TEL:06-6774-2251 FAX:06-6774-2206
受付時間:平日/9:00~17:00 定休日/土曜・日曜・祝祭日
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
<https://www.mazroc.co.jp/>

■EV-300の特長

- 握玉から操作がしやすいレバーハンドルへ簡単に取替えができます。
- 細型のケースで細い框扉への取替えに対応します。
- ディンプルキータイプのシリンダーを採用し、優れた防犯性能があります。
- ケースの取付ねじピッチは6サイズで多様な錠前の取替えに対応します。
- ケースのフロントはストレートタイプとL型防犯タイプの2種類が付属しています。

■新規で取付けされる場合は、「取付ゲージ」を参照してください。

■取替え、取付けの際はこの説明書をよくお読みいただき、内容に従って正しく施工してください。

錠前取扱上の注意事項

※本書は必ず御施主様で保管してください。

当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。製品をながく安全にご使用いただくために、この取扱上の注意事項を必ずお読みいただき正しくご使用ください。また、本書はいつでもご覧いただける所に保管してください。



使用者の傷害防止のために

- ストライク（受座）の穴に指を入れないでください。指を切るなどケガをする恐れがあります。
- レバーハンドルやラッチボルトにぶつからないように気を付けてください。ケガをする恐れがあります。
- レバーハンドルにぶら下がったり、足場にしたり、あるいは物をかけたりしないでください。大変危険です。錠前が正常に作動しなくなる恐れがあります。
- 錠前を分解したり改造したりしないでください。部品の破損、散乱でケガをしたり、錠前が正常に作動しなくなる恐れがあります。

錠前の損傷防止のために

- 鍵穴に油や異物を入れないでください。油はホコリを吸着

しますので、キー（鍵）の動きが悪くなります。キー（鍵）の動きが悪くなったら鉛筆の粉（黒鉛）を入れると動きが良くなります。

●マッドボルトを出したまま扉を閉めないでください。大変危険です。ストライク（受座）や枠を痛める恐れがあります。

●錠前・ストライク・レバーハンドルの取付ねじに緩みが生じた場合は直ぐにねじを拧り締めてください。ねじが緩んだまま使用すると、錠前が正常に作動しなくなる恐れがあります。

●レバーハンドルは定期的にやわらかい布などで掃除してください。表面に汚れやホコリなどが付着したまま放置すると変色・腐食の原因になります。レバーハンドルの洗浄に酸性やアルカリ性の洗剤、アルコールなどは使用しないでください。汚れが酷い場合は中性洗剤を水で薄めて使用し水拭きしたあと乾いた布で拭いてください。

●レバーハンドルの表面を金属装身具などで傷つけないように注意してください。傷の部分から変色、腐食する恐れがあります。

●他業者で複製されたキー（鍵）を使用する場合は、加工の精度やバリなどによってシリンダーを破損する恐れがありますので十分注意してください。

盗難・悪用防止のために

●施錠忘による盗難が多くありますので、施錠状態を確認してください。

●キー（鍵）に使用場所が分かる表示を付けると紛失した時に悪用される恐れがあります。

●付属のスペアキーは大切に保管してください。

シリンダー錠

平成15年法律第65号 第7条
指定建物錠の防犯性能の表示

品番	EV-300		
事項	←低	性能	高→
耐ビッキング性能	5分未満	5分以上	10分以上
耐かぎ穴壊し性能	5分未満	5分以上	10分以上
耐サムターン回し性能	なし	—	あり
耐カム送り開錠性能	なし	—	あり
耐こじ破り性能	なし	—	あり
出荷時キー(鍵)本数	5本		

本製品は防犯建物部品(OP錠)ではありません。

【取付業者様へ】

この表示はこの指定建物錠の防犯性能を示しています。
確実にご使用されるお客様にお届け願います。

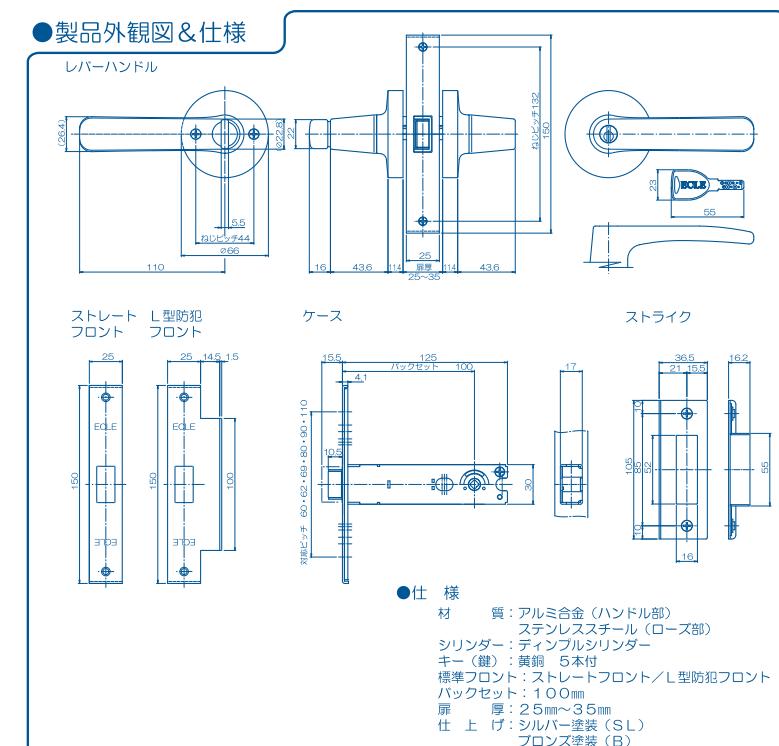
指定建物錠の中でも特に防犯性能の高いものを防犯建物部品とし、CPマークを表示する事ができます。

※ 詳細については日本ロック工業会ホームページ (<http://www.jlma.org/>) を参考願います。

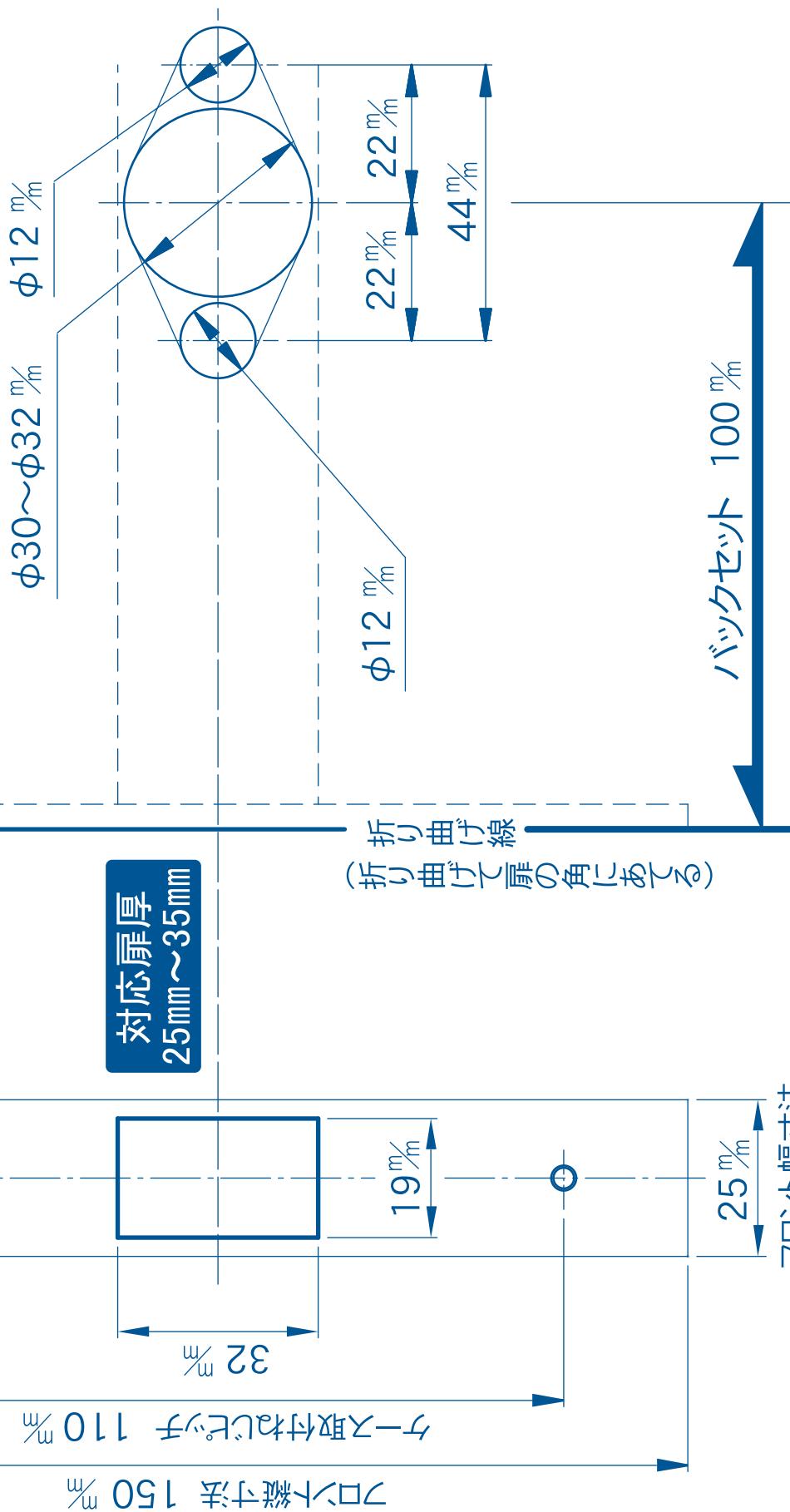
※ 錠セットについては防犯建物部品の目録に掲載のドアに使用したときに本来の性能が発揮されます。

※ シリンダー、サムターンについては防犯建物部品の目録に掲載の錠ケース及びドアに使用したときに

本来の性能が発揮されます。



取付ゲージ



日本ロック工業会

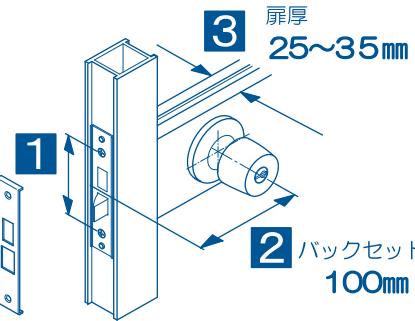
ECLE 取替錠レバーハンドル EV-300

1 取替寸法確認(新規の取付けは裏面の取付ゲージを参照下さい。)

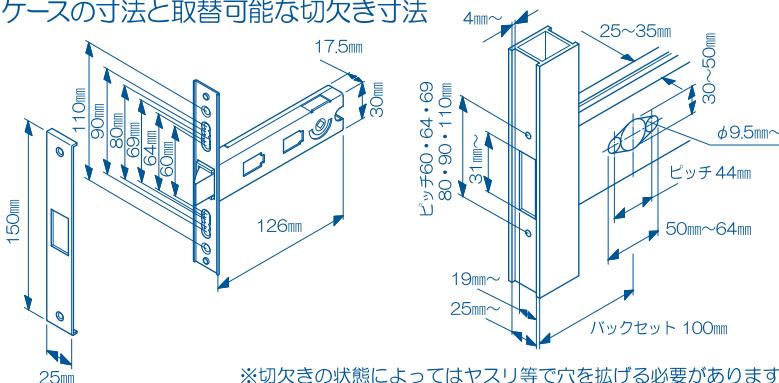
寸法確認 1. 2. 3.

ケースの取付ねじピッチ
60・64・69・80・90・110mm

現在取付いている錠前の
右図 1 2 3 の寸法を
確認します。



●ケースの寸法と取替可能な切欠き寸法

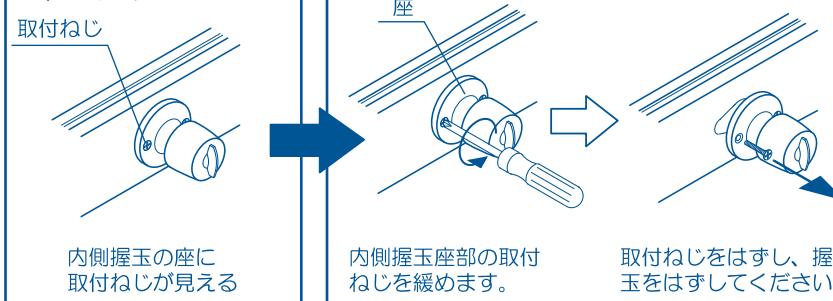


※切欠きの状態によってはヤスリ等で穴を拡げる必要があります。

2 現在付いている錠前のはずし方

(握手の取付方法には、2つの方法があります。)

●ねじタイプ



内側握手の座に
取付ねじが見える

内側握手座部の取付
ねじをはずし、握手
玉をはずしてください。

- 角棒が付いている外側レバーハンドル（シリンダーのある方）を外から（屋外側から）ケースに差し込みます。

- 角棒の位置とケース角穴の関係は、吊り勝手により変わります。下図を参照して位置を合わせてから取付けてください。

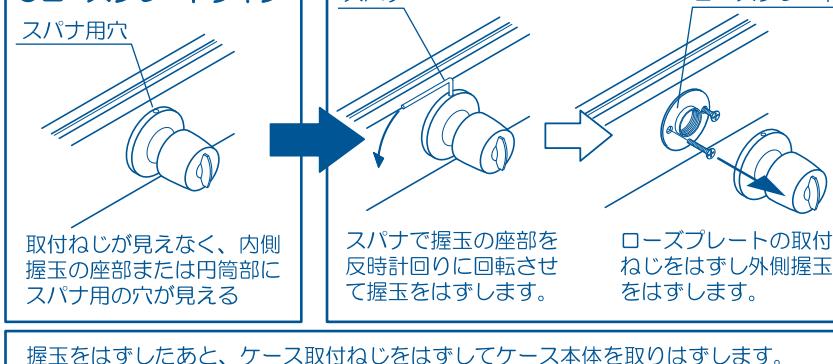
下図は屋内側から見た図です

注) 角棒とケース角穴の位置関係が間違っていると、施解錠操作が正常にできなくなります。



キー（鍵）を抜いた状態で、角棒の
位置を下図に合わせてください。

●ローズプレートタイプ



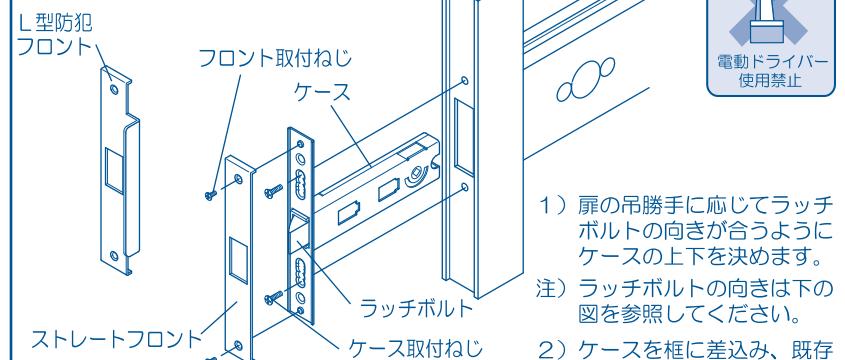
取付ねじが見えなく、内側
握手の座部または円筒部に
スパナ用の穴が見える

スパナで握手の座部を
反時計回りに回転させて
握手玉をはずします。

握手玉をはずしたあと、ケース取付ねじをはずしてケース本体を取りはずします。

3 ケースの取付

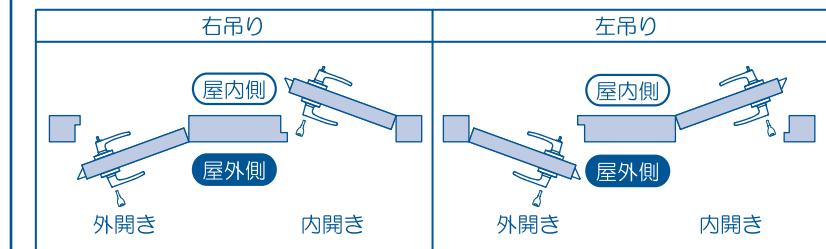
※ケースフロントにはストレートタイプ
とL型防犯タイプがあります。



- 扉の吊り勝手に応じてラッチボルトの向きが合うようにケースの上下を決めます。
注) ラッチボルトの向きは下の図を参照してください。

- ケースを框に差込み、既存のねじ穴を利用してケースを固定します。

●扉の吊り勝手とラッチボルトの向き



※扉には、外から（屋外側から）見て4種類の吊り勝手があります。

4 屋外側レバーハンドルの取付

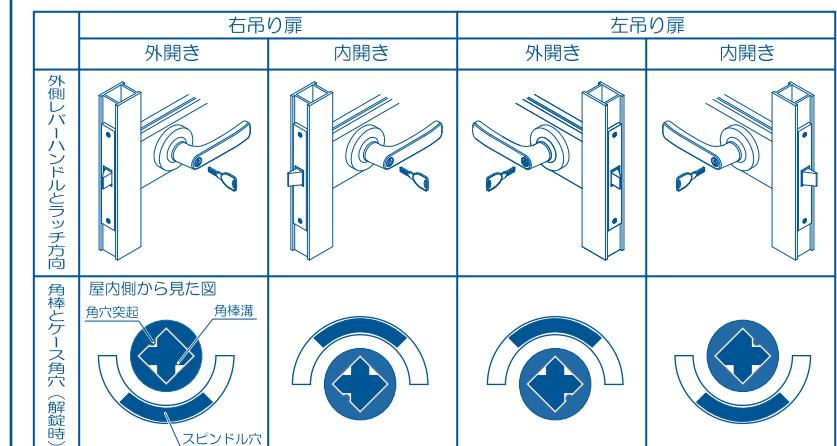
重 要

- 角棒が付いている外側レバーハンドル（シリンダーのある方）を外から（屋外側から）ケースに差し込みます。

- 角棒の位置とケース角穴の関係は、吊り勝手により変わります。下図を参照して位置を合わせてから取付けてください。

下図は屋内側から見た図です

注) 角棒とケース角穴の位置関係が間違っていると、施解錠操作が正常にできなくなります。

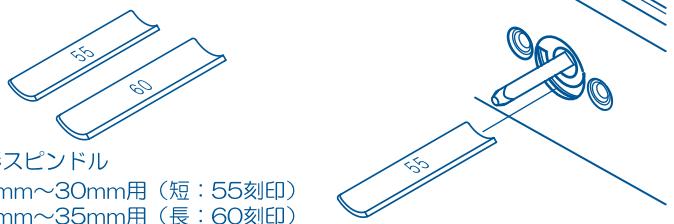


注) レバーハンドル装着後、キー（鍵）での施解錠操作とキー（鍵）の抜き差しが正常にできるか確認してください。

5 半月形スピンドルの取付

扉厚に応じた半月形スピンドルを屋内側からケースのスピンドル穴に差込み、屋外側レバーハンドルまで差し込みます。

注) スピンドルを差した後、レバーハンドルを回転させてラッチボルトが正常に作動することを確認してください。



●半月形スピンドル
扉厚25mm~30mm用（短：55刻印）
扉厚30mm~35mm用（長：60刻印）

6 屋内側レバーハンドルの取付

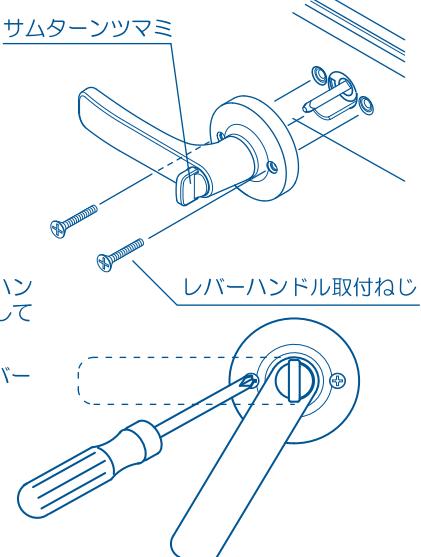
- サムターンツマミを縦（垂直）にして、屋内側レバーハンドルを屋外側レバーハンドルの角棒とスピンドルに合わせて差し込みます。

- 付属の取付ねじで仮締めします。

- レバーハンドル側の取付ねじは図のようにレバーハンドルを下げた状態で締めます。

注) 取付ねじを締め付ける時にレバーハンドルや座を傷付けないように注意してください。

注) 取付ねじの締め付けに電動ドライバーは絶対に使用しないでください。



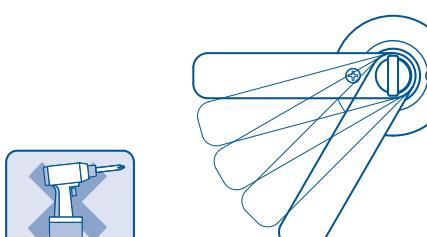
7 レバーハンドルの固定・作動確認

レバーハンドル、サムターンツマミ及びキー（鍵）を回転させて、調子を出しながらレバーハンドル取付ねじを本締めしてレバーハンドルを固定してください。

注) 取付ねじを締めすぎると作動が悪くなる場合があります。

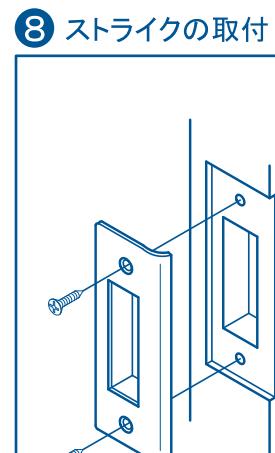


■サムターンツマミ・キー（鍵）での作動確認



電動ドライバー
使用禁止

■レバーハンドルの作動確認



ストライクをラッチボルト
及びデッドボルトの位置に
合わせて取付けます。